

## Si-R G110 V03.04 変更内容一覧

### □機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	データ通信モジュール	動作検証済みのデータ通信モジュールを追加しました。 ・U03 au (USB)
2	SNMP機能	SNMPv3利用時に本装置を再起動した場合にもsnmpEngineBoots値を更新可能としました。
3	トラッキング機能	node-trigger機能における監視タイムアウト(timeout)時間の設定範囲を拡張しました。 ・5秒～180秒 → 2秒～180秒
4	制御コマンド	usbctl restart コマンドに給電停止時間の設定パラメータ(wait)を追加します。なお、未指定時は従来と同様に3秒とし、3秒～3600秒の範囲内で指定可とします。
5	USBポート	USBポートで過電流を検出する場合に、給電を一旦停止し、給電再開自動で行うように改善します。

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V03.00～V03.02	SNTPサーバ機能有効時、NTPクライアント側にて時刻同期に失敗することがある。
2	V03.00～V03.02	DHCPクライアント機能を有効な状態(装置アドレスがDHCPにより割り当てられる場合)で時刻情報提供サーバを指定すると、装置起動時に時刻情報が自動設定されないことがある。
3	V03.00～V03.02	過電流検出状態でusbctl restart コマンドを実行しても復旧せず、以降のusbctl restartコマンドが異常終了する。
4	V03.00～V03.02	IKE_AUTH交換メッセージの受信処理でエラーとなった場合にメモリーリークが発生する場合がある。
5	V03.00～V03.02	通信中にether/lan定義のvlan設定の動的定義反映を行うと、装置が再起動する場合がある。